

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和元年10月）

令和元年7月～10月の白石踊に関わる高校生の活動について高校生自身に報告文を書いてもらいました。

1. 高校生ボランティア・アワード続報

令和元年7月29日～30日に横浜で開催された「高校生ボランティア・アワード」に参加しましたが、その続報をご報告します。

- ①主催者である公益財団法人風に立つライオン基金から当日の写真をいただきました。理事のさだまさしさんや世界的指揮者の佐渡裕さんたちと一緒に記念撮影したもの（上）と、表彰式で「マイナビ賞」という特別賞をいただいている場面の写真（下）です。（写真の掲載許可済）



- ②このアワード参加について投稿した文章が中国新聞に掲載されました。

（令和元年8月19日付 中国新聞朝刊 転載許可済）

- ③岩波ジュニア新書に私たちの活動を掲載いただけることになりました。

書名：岩波ジュニア新書

「ボランティアをやりたい！——高校生ボランティア・アワードに集まれ」

編者：さだまさし・風に立つライオン基金 編

刊行予定：2019年12月

④「進路のミカタニュース」に掲載されました。

㈱マイナビさんから特別賞「マイナビ賞」をいただきましたが、マイナビ進学の「進路のミカタニュース」で大きく取り上げてくださいました。

インタビュー記事や会場の様子が載っていますので、ご覧ください。

ボランティアに興味を持つきっかけに！ 高校生ボランティア・アワード2019 レポート

【2日目】

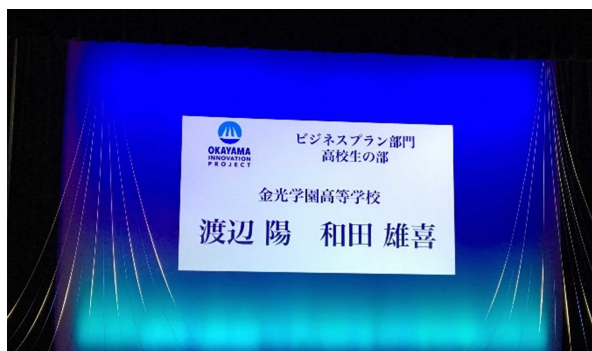
<https://mikata.shingaku.mynavi.jp/article/50810/>

(文章：渡辺陽)

2. 岡山イノベーションコンテスト ファイナルステージ進出決定

白石踊の伝統を引き継ぐバーチャルアイドルという趣旨で、渡辺陽先輩と私とで作成したビジネスプランですが、このたび岡山イノベーションコンテストのファイナルステージで発表できることになりました。

それに先立って10月2日に山陽新聞社さん太ホールで2次審査があったのですが、実際のファイナルステージのような演出でした。今回が人生で初めてビジネスプランを審査員の前で発表したので緊張しすぎてセリフを忘れてたりなどしたのですが、言いたいことは全て言えたと思います。また質疑応答の時に審査員の質問の意図がわからず「はい（肯定）」としか言えなかったのが反省点です。



ファイナルステージの抱負としては、2次審査の反省を生かして質疑応答でどんな質問を聞かれても的確に答えることができるようになる特訓とプレゼンテーションの時にいろんなジェスチャーを交えながらの発表ができるようにしたいと思います。どうか応援よろしくをお願いします。

岡山イノベーションコンテスト2019 ファイナルステージ

日時 令和元年11月23日(土) 13:00~16:30

場所 倉敷市民会館(倉敷市本町17-1)

(文章：和田雄喜)

以上